

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3147466号
(U3147466)

(45) 発行日 平成21年1月8日 (2009.1.8)

(24) 登録日 平成20年12月10日 (2008.12.10)

(51) Int.Cl. F 1
B 4 2 D 7/00 (2006.01)
B 4 2 D 9/00 (2006.01)

B 4 2 D 7/00
 B 4 2 D 9/00 G

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-6639 (U2008-6639)
 (22) 出願日 平成20年8月12日 (2008.8.12)

(73) 実用新案権者 508283093
 倉田 法篤
 茨城県龍ヶ崎市大徳町2494-1
 (72) 考案者 倉田 法篤
 茨城県龍ヶ崎市大徳町2494-1

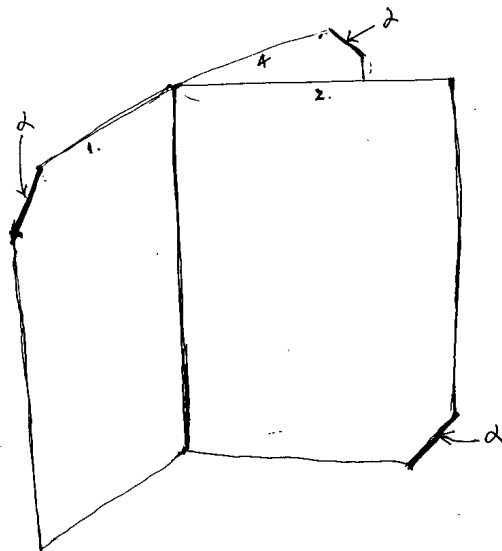
(54) 【考案の名称】 角隅切断冊子及び角隅切断用紙帳

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】紙をめくることを楽しめた、新聞あるいは冊子等の角隅切断冊子及び角隅切断用紙帳を提供する。

【解決手段】新聞あるいは冊子等の折り重ね書類の開き側の上下角のページを、順に互い違いに斜め切断して角隅を落とし、その斜縁に明瞭な線αを付着させて冊子等を構成する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

冊子並びに、朝刊又は夕刊などの新聞及びその類似形式に頼る折り重ね書類の開き側の上下角のページ順互い違いに斜めに切断し、角隅を落としその斜縁に明瞭線を付着させることを施した無字冊子及び有字冊子並びに、新聞及びその類似形式に頼る折り重ね書類。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、冊子並びに、朝刊又は夕刊などの新聞及びその類似形式に頼る折り重ね書類のページを繰ったり、紙をめくることが楽にするためのことに関するものである。

10

【背景技術】

【0002】

ページを繰ったり、紙をめくる際指を口に入れて唾液を付けたり、角隅をまとめて数枚折り曲げたりして用を足していた。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

指を口に入れたり、角隅を折ったりすることは細菌感染による病気や精神的苦痛による病を気にせずにはいられないだけでなく、物事体も破損する。だが、この考案により、その心配がない。

20

【課題を解決するための手段】

【0004】

ページを繰ったり、紙をめくる部分に強く接解することなく楽。

【考案の効果】

【0005】

書いてある内容に集中できる。又メモ用紙の場合忘れることなく連続書き留め可能。

【考案の実施するための最良の形態】

【0006】

二等辺直角三角形で切り取るのが最良。

【実施例】

30

【0007】

以下、添付図面に従って一実施例を示す。但し極めて枚数の少ない冊子を示した。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図 1】本考案のメモ帳を例にしたもので、数字はメモ帳の便宜的なページ番号。記号 α は二等辺直角三角形を切り取った部分で、明瞭な線を施す。

【図 2】一枚ずつ取り並べたもので、数字は図 1 と同じページ番号。 α は切断した部分の切り口。 β は切り離した二等辺直角三角形。明瞭なラインは両面入れる。二つの黒点は F としたが綴じる部分。なくて折り込んだものも同様。

【符号の説明】

40

【0009】

1 便宜的なページ番号

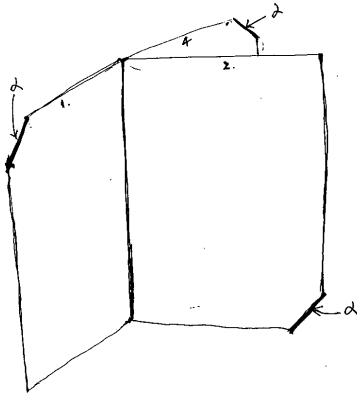
2 便宜的なページ番号

4 便宜的なページ番号

α 切り口

β 切り落とす二等辺三角形。

【図 1】



【図 2】

